費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	10,466,625	①当所は費用進行基準を採用しております。 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：10,225,744 （研究業務費9,280,259、一般管理費821,934、雑損123,550） イ）自己収入に係る収益計上額：2,545,069 （臨床医学事業収益2,447,033、その他事業収益52,121、受取利息832、雑益45,081） ウ）固定資産取得額：705,368 （建物附属設備84,301、構築物26,703、車両運搬具588、医療用器械備品33,800、工具器具備品554,724、建設仮勘定5,250） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 ㋐の費用10,225,744＋リース・割賦240,881＝10,466,625）
	資産見返運営費交付金	705,368	
	資本剰余金	—	
	計	11,171,993	
会計基準第80第3項による振替額		—	
合計		11,171,993	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：千円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成18年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務はしておりません）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務はしておりません）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	15,605	○当所は費用進行基準を採用しております。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、主に契約済み繰越によるものであります。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降において、収益化する予定であります。
	計	15,605	

（単位：千円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成19年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務はしておりません）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務はしておりません）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	90,149	○当所は費用進行基準を採用しております。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、主に契約済み繰越によるものであります。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降において、収益化する予定であります。
	計	90,149	

（単位：千円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成20年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務はしておりません）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務はしておりません）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	1,235,220	○当所は費用進行基準を採用しております。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、主に契約済み繰越によるものであります。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降において、収益化する予定であります。
	計	1,235,220	